

CITY OF YOKOHAMA

公有地グリーン子育て街区整備 第1弾がスタート！

～「Green×Housing Project あゆみが丘」の
マスターアーキテクト等事業予定者が決定～

2026年7月16日
市長定例記者会見



横浜市

1 「公有地グリーン子育て街区整備」について

横浜市では令和8年度より、「子育て世代の住まいへの応援パッケージ」を開始

公有地グリーン子育て街区整備

- 郊外部の未利用公有地を活用
- 子育てしやすく、高い環境性能を有する住宅や、地域とつながるコミュニティなど、「街区全体での子育てしやすい住環境モデル」を、公民連携で創出



「子育て」、「脱炭素」、「コミュニティ形成」を一体的に実現する街区整備を、戦略的に郊外部へ展開し、連鎖的に周辺地域に広げていく、全国的にもまれな横浜市初の取組

子育て世代向け家賃補助等の拡充

- 子育て応援賃貸住宅整備費等補助
- 空家を活用した子育て世代転入・定住促進補助金
- 子育て世代家賃補助付き賃貸住宅

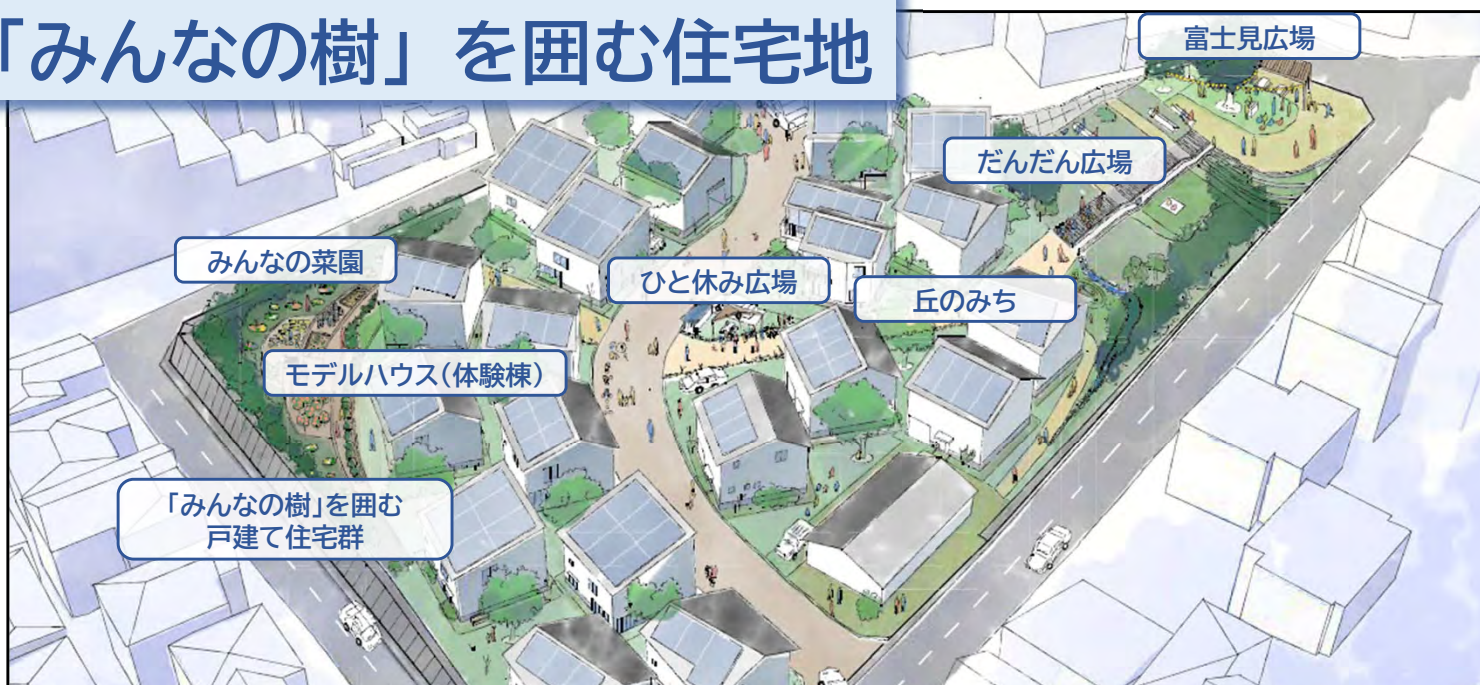
2 「公有地グリーン子育て街区整備」の第1弾 「Green×Housing Project あゆみが丘」

- 所在地 都筑区あゆみが丘9
(中川駅から徒歩約15分)
- 区域面積 5,969m²



3 まちづくりのコンセプト

「みんなの樹」を囲む住宅地



子育てしやすい
住環境の創出

脱炭素・循環型社会の実現、
新たなライフスタイルの
発信・普及啓発

コミュニティの創出

このページ以降の計画概要・イメージパースは、事業提案時のものであり、今後、変更する可能性があります。

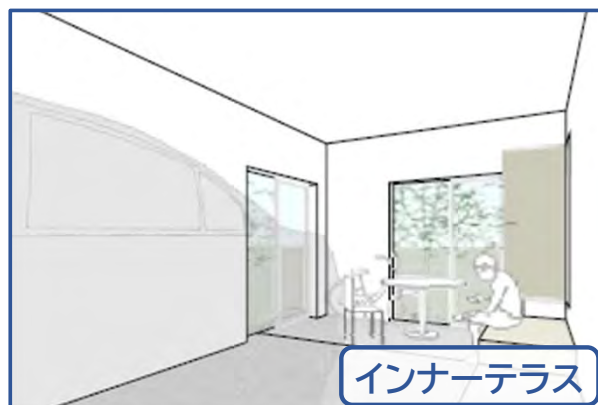
3 まちづくりのコンセプト

子育てしやすい住環境の創出

- 「みんなの樹」を囲み、
自然な見守りや交流を促す
ゆとりある住戸配置



- ベビーカー置き場等に使える
インナーテラス、
こどもの勉強や在宅ワークに便利な
スタディスペースなど
子育てしやすい住空間



- 街区全体を見通すことで
こどもを見守る「ひと休み広場」



3 まちづくりのコンセプト

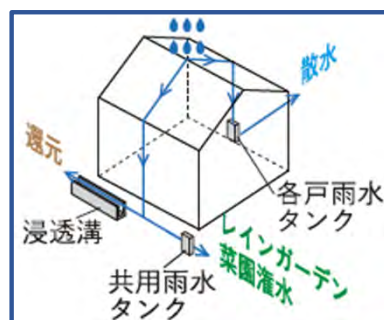
脱炭素社会の実現

- 断熱等級6、太陽光発電等による「省エネ性能のより高い住宅」
- 街区全体での再生エネルギーの活用
- 発生残土を活用した「だんだん広場」



循環型社会の実現

- リユース・リサイクル建材の活用
(再生材を用いた舗装、建設発生材をリユースしたコンポスト等)
- 街区全体での雨水の再利用
(屋根から集水した雨水の菜園での灌水利用等)



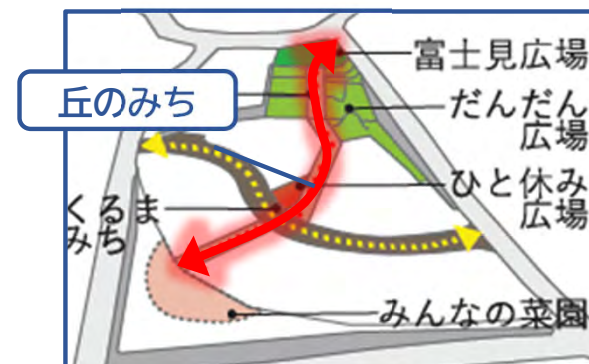
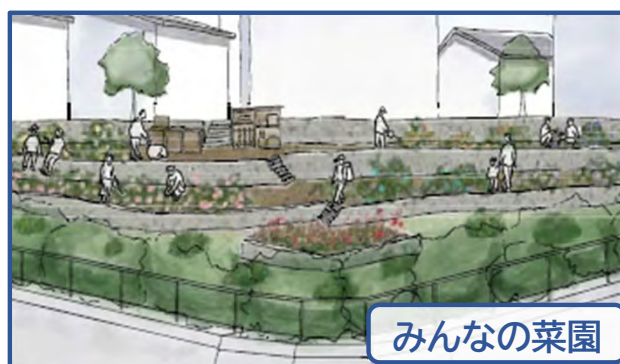
新たなライフスタイルの発信・普及啓発

- 健康で快適な「省エネ性能のより高い住宅」を体感できるモデルハウス
- 新たなライフスタイルの発信
(環境に配慮した住まい方、エネルギーや屋外緑陰のシェア等)
- 省エネに取り組む
市内事業者と連携した普及啓発

3 まちづくりのコンセプト

コミュニティの創出

- コミュニティや地域防災の拠点となる「富士見広場」
- 作物を育て、楽しむことでコミュニティを創出する「みんなの菜園」
- 広場や菜園をめぐる、多世代が健康的に楽しみながら歩ける「丘のみち」



4 「公有地グリーン子育て街区整備」の今後の展開

子育て世代の流入、定住の促進と、
脱炭素・循環型社会の推進により

「住みたい・住み続けたいまち」
を実現します

子育て世代・市内事業者への普及啓発
による周辺地域への波及

横浜グリーンエキスポも契機に
モデル街区を郊外住宅地へ順次展開

モデル街区第1弾
「Green×Housing Project あゆみが丘」

Green×Housing Project
あゆみが丘

郊外部
のコア

